

航空自衛隊入間基地に関する 令和3年度概算要求の主要事業について

1. C-2輸送機の取得・配備等

(1) C-2輸送機の取得

運用開始から40年以上が経過した現行のC-1輸送機の減勢に対応するとともに、航空輸送能力を向上させるため、C-1輸送機の後継機としてC-2輸送機の導入を進めています。



令和3年度概算要求においては、2機の取得に係る経費（関連経費を含めて約515億円）を計上しています。

(2) C-2輸送機の受入れ施設等の整備

令和3年度概算要求においては、整備格納庫等の経費（約31億円）を計上しています。

2. 災害対処拠点地区及び自衛隊入間病院（仮称）の整備等

(1) 災害対処拠点地区の整備

防衛省は、大規模災害等への対応の一環として、災害対処拠点地区を整備する計画です。

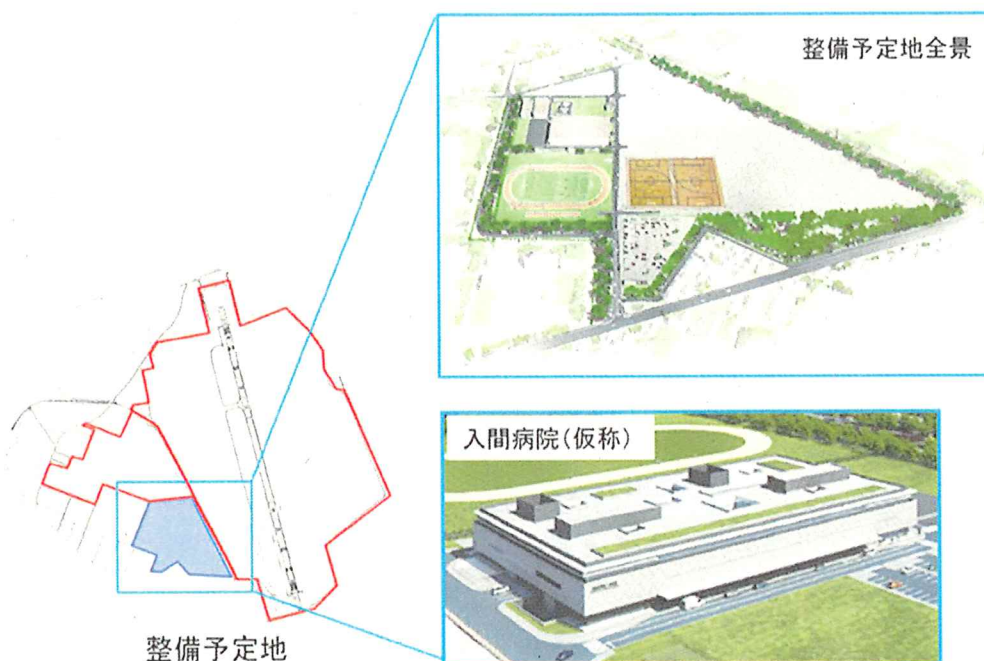
令和3年度概算要求においては、災害対処拠点地区のIV期工事に必要な経費（約2億円）を計上しています。

(2) 自衛隊入間病院（仮称）の整備等

防衛省は、自衛隊病院の拠点化・高機能化の一環として、自衛隊三沢病院及び自衛隊岐阜病院を集約するとともに自衛隊那覇病院を陸上自衛隊へ移管し、令和3年度中に航空自衛隊入間基地に自衛隊入間病院（仮称）を新編することとしています。

令和3年度概算要求においては、自衛隊入間病院（仮称）のIV期工事に必要な経費（約3億円）を計上しています。

(3) 概要図 (イメージ)



3. 航空医学実験隊及び航空安全管理隊の移動

(1) 概要

航空自衛隊は、組織を最適化し、組織力の更なる向上を図るため、立川分屯基地に所在する航空医学実験隊及び航空安全管理隊を入間基地に移動する計画です。

(2) 航空医学実験隊の移動

航空医学実験隊は、航空医学及び心理学上の各種調査研究並びに航空身体検査、航空生理訓練を行う部隊であり、4つの部から構成されている部隊です。現在、第1部及び第2部は立川分屯基地に、第3部及び第4部は入間基地に所在していますが、令和3年度に第1部及び第2部を入間基地へ移動することとしています。

(3) 航空安全管理隊の移動に向けた整備

航空安全管理隊は、航空事故調査委員会が行う事故調査への支援等を行う部隊です。現在、立川分屯基地に所在していますが、令和4年度以降に入間基地へ移動することとしています。

令和3年度概算要求においては、航空安全管理隊の庁舎のⅡ期工事に必要な経費(約1億円)を計上しています。

4. 入間基地の定員の増減

入間基地の定員については、令和3年度概算要求における各種事業等により、以下のとおりとなる予定です。

令和2年度末	令和3年度末	増▲減
約4,150名	約4,390名	+約230名

※ 四捨五入により合計は一致していません。